



上手につけるかな？子ども会とサロンが世代間交流



▲餅つきの様子（写真提供：さわやか会）

12月23日（土）、中持留公民館において、持留分館子ども会と中持留集落のサロン『さわやか会』が合同で『交流餅つき大会』を行いました。

餅つきは昨年を引き続き2回目の活動でしたが、子どもたちはきねの重さにフラフラしながらも、交代しながら楽しそうに餅をつきました。

ついた餅はサロンの皆さんに整え方を教わりながら丸め、焼き餅やぜんざいの中に入れてたりして、みんなですべての餅をいただきました。サロンの皆さんは、「子どもたちと楽しむことができてよかった。」と話しました。

まちの観光振興を願い提言書を提出

12月27日（水）、役場応接室において、『大崎町観光施設のあり方検討会』からの意見がまとめられた提言書が町長へ提出されました。

この会では、平成29年6月から4回にわたり、町が保有するあすばる大崎やくにの松原キャンプ場といった観光施設のあり方について有識者や専門家を交えて検討を重ねてきました。

提言書には、各施設の利用状況や意見が掲載されており、今後の観光振興施策の重要な方針として役立てられます。



▲町長と大崎町観光施設あり方検討会 中倉和人会長

一年の計は元旦にあり！無病息災を祈願、都萬神社にぎわう



▲獅子舞に噛まれ厄を払われる参拝者家族

1月1日（月）、都萬神社では初詣の参拝者が訪れにぎわいを見せ、境内では、『獅子舞』が参拝者の頭を噛み、無病息災を祈りました。

また、社殿では世界平和と五穀豊穡を祈願する『豊栄乃舞』が隈本明日香さん（串良商業高等学校2年）と鷲東寧音さん（大崎中学校3年）の2人の巫女により披露されました。

境内のあちらこちらで、参拝者らの新年のあいさつが交わされ、新春恒例のにぎわいを見せていました。